

USPTO、デンバーサテライトオフィスを正式開所

2014年7月1日
JETRO NY 今村・丸岡

USPTOは、6月30日にデンバーサテライトオフィスを開所し、同日にその式典を執り行った旨、自身のホームページでプレスリリースした¹。

式典には、Bruce Andrews 商務副長官代行、Michelle K. Lee USPTO 副長官、地元選出議員らが出席した。

式典の中で Andrews 商務副長官代行は、「わが省は”Open for Business Agenda”の下、国内各地でイノベーションの促進 (to build their capacity to spur innovation) のために積極的な投資を行っている。また、事業のライフサイクルの全段階において、革新的なスタートアップ企業や起業家を支援している。知財のワンストップサービスを行うデンバーサテライトオフィスの開所により、当地の USPTO ユーザーと商務省の間の距離が短くなったことに、心を躍らせている」と演説した。

また、Lee 副長官は、「地元における、多くの優秀な人材の確保は、USPTO の運営の質と透明性の向上、そして、特許審査期間 (patent pendency) の短縮化につながる」と述べた。同じく式典に参加した Michael Bennet 上院議員 (コロラド州選出、民主党) は、「本日の開所は、民主党と共和党の協力、都市と地方の協力といった、コロラド州の特徴である協力性を祝福するものである」とした。

(参考1) Michelle K. Lee USPTO 副長官のスピーチ:

http://www.uspto.gov/news/speeches/2014/lee_denveropening.jsp

¹ [6月30日付 USPTO プレスリリース](#)

(参考2) サテライトオフィスについて

サテライトオフィスの設置に関しては、2011年9月16日に成立した改正特許法(AIA)において、法施行から3年以内にデトロイトを含め、少なくとも3つのサテライトオフィスを設立することが規定されている。

これまで、デトロイトオフィス(ミシガン州)は、2012年7月13日に正式開所済みであるが、ダラス(テキサス州)、デンバー(コロラド州)、サンノゼ(カリフォルニア州)は仮オフィスでの開所にとどまっていた。今回のデンバーオフィスの正式開所により、残りはダラスとサンノゼの正式開所を待つこととなるが、両者の開所は、2015年になる見込み。

デンバーオフィスの広さは、45,000 square-foot(約4,200 m²)で、初年度は約120名の審査官・審判官を採用する予定のところ、まずは、電気、コンピュータ分野を中心に、採用を行う予定。地域にもたらす経済効果は、最初の5年間で約4億4000万ドルとしている。

The Denver Post(6月30日付)²、CBSDenver(6月30日付)³も、このニュースを報じている。

² http://www.denverpost.com/business/ci_26062357/u-s-patent-office-opens-denver-1st-location

³ <http://denver.cbslocal.com/2014/06/30/denver-patent-office-expected-to-be-a-boon-for-regions-inventors/>